

令和4年6月1日

まちづくり委員会資料

所管事務報告

J R 武蔵小杉駅新規改札口設置工事に関する施行協定締結について

資料 J R 武蔵小杉駅新規改札口設置工事に関する施行協定締結について

まちづくり局

J R 武蔵小杉駅新規改札口設置工事に関する施行協定締結について

資料

1 現状及び背景について

- 平成 22 年 3 月の横須賀線武蔵小杉駅開業以降、ラッシュ時には駅構内及び駅周辺では混雑が生じており、平成 30 年 7 月に本市と J R 東日本で締結した覚書に基づき、混雑緩和に向けた抜本対策の取組を推進している。
- 併せて短期的に進められる混雑緩和及び安全性の確保に向けた取組を進めてきた。
- ・平成 30 年度 南武線下りホームの一部拡幅、新南改札付近への入場専用臨時改札設置
 - ・平成 31 年度 横須賀線ホームへのスレッドライン整備及び転落防止注意喚起センサー整備
 - ・令和 3 年度 南武線ホームドア設置

2 覚書に基づく混雑緩和に向けた抜本対策の内容について

- ① 横須賀線下りホーム新設（2 面 2 線化）
- ・下り専用ホームを新設し、現状の島式ホームを上り専用化することによる横須賀線ホームの混雑緩和
 - ・設計費、工事費及び用地費の費用負担及び施行は J R 東日本
- ② 新規改札口設置
- ・東急線・横須賀線間の乗換えの歩行者の分散化による混雑緩和、南武線北側からのアクセス性向上
 - ・設計費、工事費及び用地費は費用負担は本市、施行は J R 東日本
- ③ 新たなアクセスルート整備
- ・設計費、工事費及び用地費の費用負担及び施行は本市



3 覚書に基づく混雑緩和に向けた抜本対策の取組状況について

- ① 横須賀線下りホーム新設（2 面 2 線化）
- ・令和 2 年 4 月 工事着手
- ② 新規改札口設置
- ・平成 30、31 年度 基本設計、用地取得
 - ・令和 2、3 年度 実施設計
- ③ 新たなアクセスルート整備
- ・平成 30、31 年度 概略設計、用地取得
 - ・令和 2、3 年度 設計



4 J R 東日本との新規改札口設置工事施行協定に関する内容について

- 《工事の施行主体》 J R 東日本
- 《工事の期間》 協定締結から令和 7 年 3 月 31 日まで
- 《工事の主な内容》 駅務室、新規改札コンコース、改札機、券売機 など
- 《財産及び管理》 J R 東日本
- 《工事の費用及び負担》 平成 30 年 7 月に締結の覚書に基づき本市が負担

事業費	川崎市	J R 東日本	合計
	1,232,108 千円	3,795 千円※	1,235,903 千円

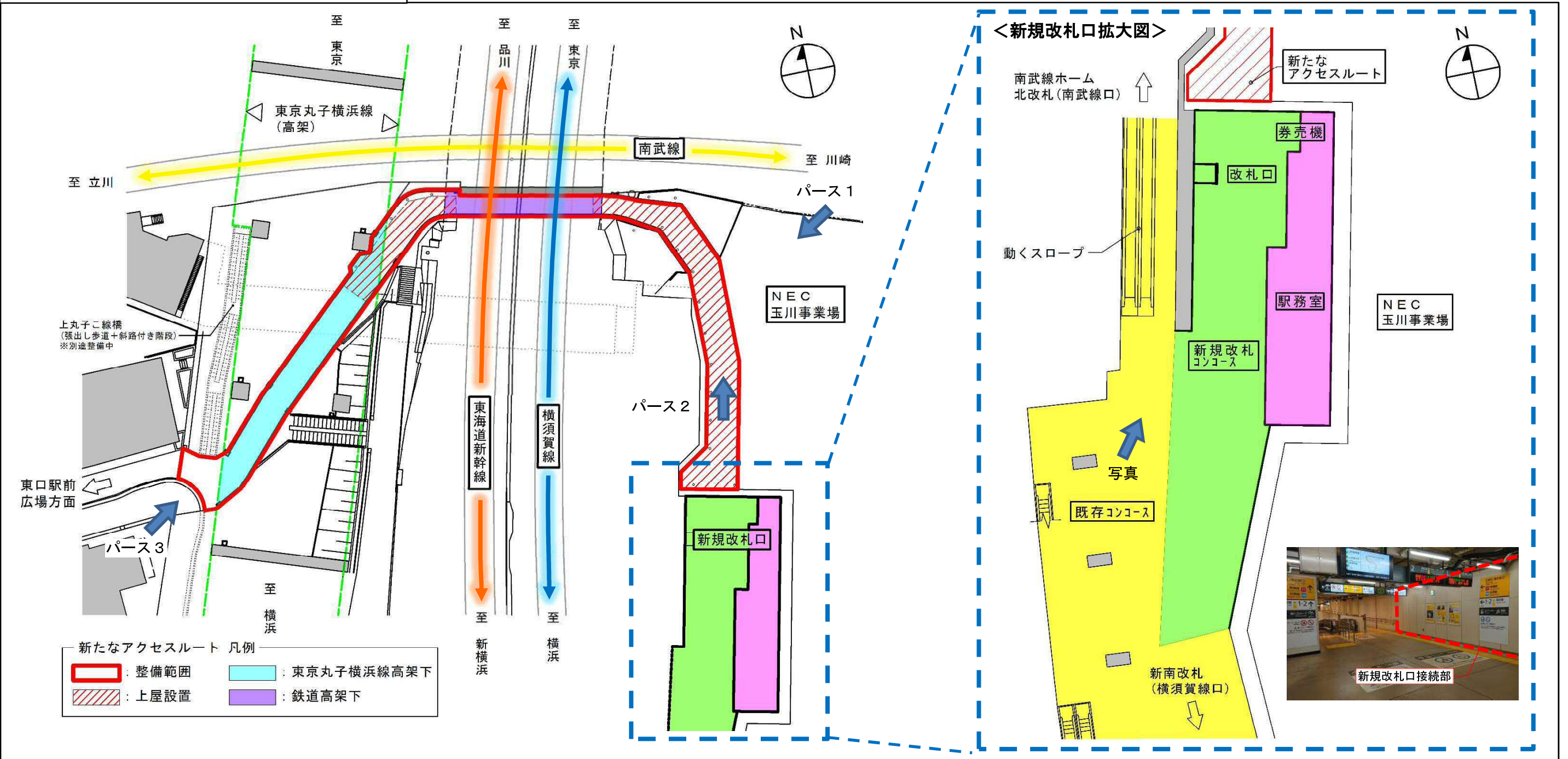
※下りホームと新規改札口の相互に必要な雨水流出抑制施設等

5 今後のスケジュール

	①横須賀線 下りホーム新設	②新規改札口設置	③新たなアクセス ルート整備
	費用：J R 東日本 施行：J R 東日本	費用：本市 施行：J R 東日本	費用：本市 施行：本市
令和 4 年度	工事期間 供用開始予定 (年度末頃)	工事期間 協定締結 (6 月予定)	工事期間 工事着手
令和 5 年度		工事期間 供用開始予定	工事期間 供用開始予定
令和 6 年度			

JR武蔵小杉駅新規改札口設置工事に関する施行協定締結について

5 新規改札口及び新たなアクセスルートの配置



6 イメージパース

パース 1 新規改札口前鳥瞰



パース 2 新たなアクセスルート



パース 3 新たなアクセスルート



※計画段階のイメージであり、実際の整備内容と異なる場合があります。

7 主な整備概要

新規改札口	鉄骨造、平屋建て、約 620 m ² 駅務室、新規改札コンコース、改札機、券売機
新たなアクセスルート	延長 約 130m、代表幅員 約 4 m、歩行者専用道路 アスファルト舗装 (表面ペイント)、上屋、照明設備